

# 交流だより 中学部



令和4年7月  
総務部発行 第1号

やまびこ支援学校中学部は、社会性の育み、相互理解をねらいとして猿橋中学校と交流を行っています。昨年、一昨年は、感染症対策により直接会って交流ができなかったため、学校紹介動画の交換によって交流を行いました。本年度は、リモートによる交流及び共同学習を実現することができました。手を振れば手を振り返してくれる、話しかければ答えが返ってくる、思いが即時に行き交う交流ができ、生徒たちは大きな感動に包まれました。

今回は、音楽の学習を通して交流を行いました。やまびこの教師が授業を行い、そこに猿橋中学校の生徒たちがリモートで参加しました。やまびこ生が普段学んでいる、ハンドベルや音楽の身体表現活動を共に行いました。猿中生には予めハンドベルを練習しておいてもらうなど、事前学習を行ったことで、音楽を間にお互いのすばらしさを感じ合う良い交流ができました。

はじめの会の後、3年生、1・2年生グループに分かれてレクレーションをし、緊張をほぐしました。



4か所をつないでのはじめの会



3年生、パプリカを元気よく踊りました

## 音楽Cグループ



本校生がオーシャンゼリゼの身体表現を披露した後、「山梨県の歌」の身体表現を3グループに分かれて猿中生といっしょに考えました。最後に「エーデルワイス」のハンドベル演奏をお互いに聞きました。交流後、猿中生より、表現を考えるのは難しかったがやまびこ生がスラスラ思いついてすごいと感じた、ベルの音がとても美しかった、次の交流は自分たちが企画するので楽しみにしてほしい、などのメッセージが寄せられました。

## 音楽A・Bグループ



猿中生から、やまびこ生がとても楽しく表現する姿を見て、自分も楽しくなった、明るい気持ちになった、ハンドベルの発表もお互いに同じ曲を練習し発表できたので楽しかった、ハンドベルや歌声がきれいで感動した、次回の交流も楽しみだと感想が寄せられました。



1・2年生

それぞれの学校で考えた〇✕クイズ